

- 茨城県, 2016. 茨城県版レッドデータブック<動物編> 2016年改訂版 (<http://www.pref.ibaraki.jp/seikatsukankyo/kansei/chojyuhogo/documents/rdbkakuron6-4.pdf>) (2017年8月14日参照).
- 松井正通・松井正文, 1996. 静岡県からのゲンゴロウ類2種の記録. 月刊むし, (307): 38.
- 水野弘造・細田倅市, 2010. 葦崎市(山梨県)の甲虫. 206 pp., 日本甲虫学会.
- 森 正人・北山 昭, 2002. 改訂版 図説日本のゲンゴロウ. 232 pp., 文一総合出版.
- 長野県, 2015. 長野県版レッドリスト(動物編) 2015 (<http://www.pref.nagano.lg.jp/shizenhogo/kurashi/shizen/hogo/hogo/redrist-doubutsu.html>) (2017年8月14日参照). 長野県.
- 西田時弘, 1999. 千葉県内における大型ゲンゴロウ類等の記録. 房総の昆虫, (22): 65-71.
- 西原昇吾・菊部治紀・北野 忠・永幡嘉之, 2015. クロゲンゴロウ. P. 396, 環境省編, レッドデータブック2014-日本の絶滅のおそれのある野生生物-5, 昆虫類, ぎょうせい.
- 埼玉県, 2008. 埼玉県レッドデータブック2008 動物編. 354 pp., 埼玉県.
- 佐藤光一・大桃定洋, 2003. ゲンゴロウ科, pp. 57-66, 栃木県編, とちぎの昆虫II.
- 初宿成彦編, 2011. ゲンゴロウ上科, pp. 3-28, 初宿成彦編, 大阪市立自然史博物館所蔵甲虫類目録(1). 大阪市立自然史博物館所蔵資料目録(43).
- 杉村健一, 2014. 山梨県でクロゲンゴロウを採集. 山梨の昆虫, (55): 13-14.
- 鈴木智史, 2007. クロゲンゴロウ2箇所における記録. 房総の昆虫(39): 69.
- 高野 勉・大桃定洋, 2000. 茨城県産甲虫リスト. るりぼし, (23): 1-154.
- 谷澤 崇, 2006. 長野県内におけるクロゲンゴロウおよびマルガタゲンゴロウの採集記録. New Entomologist, 55(3, 4): 75-76.
- 東京都, 2013. レッドデータブック東京. (<http://tokyo-rdb.jp/index.php>) (2017年8月14日参照).
- 東京都本土昆虫目録作成プロジェクト, 2002. 東京昆虫目録(TKM). (<http://tkm.na.coocan.jp/>) (2017年8月14日参照).
- 山崎秀雄, 1999. 千葉県の鞘翅目, pp. 634-718. 千葉県生物学会編, 千葉県動物誌.
- 吉越 肇・小田 博・竹内崇夫・西山 明・小堀文彦・長畑直和・牧林 功, 1998. 埼玉県産の鞘翅目(甲虫類), pp. 93-340, 埼玉昆虫談話会編, 埼玉昆虫誌 III.
- 油井雅樹, 1995. 静岡県におけるゲンゴロウの記録. 月刊むし, (298): 14-15.
- 油井雅樹, 1997. 静岡県西部及び伊豆地方における水生昆虫の記録. 駿河の昆虫, (179): 5021-5023.

(2017年9月8日受領, 2017年12月4日受理)

【短報】本州のリウキュウダエンチビドロムシとチビドロムシ

リウキュウダエンチビドロムシ *Pelochares ryukyuensis* M.Satô は南西諸島(宝島・奄美大島・沖縄本島・西表島: Satô, 1966; 与那国島: Yoshitomi, 2007)と台湾(Satô, 1965, 1966)から知られる種であるが, この他に広島県三次市の記録(秋山, 2000)がある. しかし, この記録を引用した中村(2014)が「本種は琉球列島を分布域としているチビドロムシで, この記録は誤同定の可能性もある」と述べているように, 本種が本州に産することは広く認められていないようである.

筆者らは, 広島県東広島市と東京都稲城市で本種を採集するとともに, 秋山(2000)の広島県三次市からの記録個体が正しく本種であることも確認できたので報告する. なお, 本種と後述のチビドロムシ *Limnichus lewisi* Nakane の同定は Nakane (1963), Satô (1966), 上野ほか(1985)によった.

リウキュウダエンチビドロムシ *Pelochares ryukyuensis* M.Satô (図1, 2)

広島県三次市向江田町: 秋山(2000); 4♂10♀, 広島県東広島市西条町下見, 2. VIII. 2017, 前原和雄採集; 1♂, 東京都稲城市大丸(多摩川河川敷), 16. X. 2014, 伊藤淳採集.

三次市の個体は, 秋山(2000)によれば故・中

根猛彦博士の同定によるもので, 比和町立自然科学博物館に所蔵されている. 今回, 秋山美文氏に標本写真をお送りいただき, 本種と確認できた.

東広島市では, 夏季に前原の自宅の灯火に本種が毎夜多数飛来する. その一部を伊藤が同定した. 記録した標本は伊藤が保管している. なお, 前原は平野幸彦氏にも標本をお送りし, 本種であるとの同定結果をいただいている. また, 前原はこれ以後も, 自宅に飛来したものを50頭以上調べているが, すべて本種と同定できるものであった.

稲城市の個体は, 台風による増水の後に洪水堆積物を篩って得たもので, 伊藤が保管している. この個体は伊藤(2015)がチビドロムシ *Limnichus lewisi* Nakane として報告したものであるが, これは誤同定であったので, この場を借りて訂正する.

一方, 今回の調査の過程で, 伊藤の採集品の中に真のチビドロムシも存在することが明らかになったので, 以下に記録しておく.

チビドロムシ *Limnichus lewisi* Nakane (図3, 4)

1♂1♀, 東京都稲城市大丸(多摩川河川敷), 8. X. 2014, 伊藤淳採集.

これらも台風による増水の後に洪水堆積物を篩って得たもので, 伊藤が保管している.

以上の記録から見て, リウキュウダエンチビドロムシは本州の広い範囲に, 更には九州や四国



図1-4. リュウキュウダエンチビドロムシ (1, 東広島市産, 前原撮影) と同♂交尾器 (2, 伊藤撮影) とチビドロムシ♂ (3, 稲城市産, 歳清勝晴氏撮影) と同♂交尾器 (4, 伊藤撮影)。

にも生息するのではないかと予想される。特に東広島市での生息状況を見ると、場所によっては多産するものようである。しかし、本種が南西諸島の種であるとされていることから、本土で得られたものはチビドロムシとして記録される例が多かったのではないだろうか。たとえば林 (2012) やイッケー (2011) がチビドロムシとして載せている写真はリュウキュウダエンチビドロムシと思われる。今後、従来のチビドロムシの記録を再調査することも含め、両種の分布記録を集積する必要があろう。

両種は♂交尾器が顕著に異なる (図2, 4) 他に、外部形態にも様々な差異があるが、同定に使いやすい相違点をいくつか挙げておく。

- ①リュウキュウダエンチビドロムシは、背面に寝た短毛を装うのみだが、チビドロムシは寝た短毛と斜立した長毛を装う。
- ②小楯板は、リュウキュウダエンチビドロムシでは長さも幅がほぼ等しいが、チビドロムシでは明らかに縦長である。
- ③触角は、リュウキュウダエンチビドロムシでは基部2節が肥大し、先端5節はそれぞれ扁平な円盤状で、互いにゆるく連結する。先端節はその前節より少し長い。チビドロムシでは基部3節が肥大し、先端3節はややゆるい球桿を成し、先端節はその前節の2倍以上の長さがある。
- ④後基節には、リュウキュウダエンチビドロムシでは顕著な横溝があり、チビドロムシでは点刻列がある。
- ⑤小腮鬚の先端節は、リュウキュウダエンチビドロムシでは細長く、長さは幅の3倍程度。チビドロムシでは太短く、長さは幅の2倍弱。

末筆ながら、調査に御協力いただいた秋山美文氏、同定を確認していただいた平野幸彦氏、写真を撮影していただいた歳清勝晴氏に厚く御礼申し上げます。

引用文献

- 秋山美文, 2000. 比和町立自然科学博物館所蔵の甲虫標本 (3). 比和科学博物館研究報告, (39): 65-76.
- 林 成多, 2012. 山陰のチビドロムシとナガドロムシ. ホシザキグリーン財団研究報告, (15): 11-18.
- イッケー, 2011. コウチュウ目. 水生昆虫 WEB 図鑑. <http://suiseikonnyuu.zouri.jp/Suiseikoutyuu.html> (2017年8月31日アクセス)
- 伊藤 淳, 2015. 東京都稲城市の甲虫類 (4). 神奈川虫報, (185): 72-77.
- 中村慎吾, 2014. コウチュウ目. 広島県昆虫誌 (改訂増補版) II, pp. 457-1273. 比婆科学教育振興会, 庄原.
- Nakane, T., 1963. New or little-known Coleoptera from Japan and its adjacent regions. XXII. Fragmenta Coleopterologica, (10-12): 42-48.
- Satō, M., 1966. The Limnichid-beetles of Japan. Trans. Shikoku Ent. Soc., 9(2): 55-62.
- 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝編, 1985. 原色日本甲虫図鑑 (II). viii+500 pp, 80 pls. 保育社, 大阪.
- Yoshitomi, H., 2007. A new record of *Pelochares ryukyensis* (Coleoptera, Limnichidae) from the island of Yonaguni-jima. Elytra, Tokyo, 35(2): 528.

(伊藤 淳 183-0012 府中市押立町 5-1-25)
(前原和雄 739-0044 東広島市西条町下見 1120-8)